



地域の防災訓練 メニュー



横浜市消防局予防課

平成30年3月(第1版)



目次



火災関係

- 消火器取扱訓練 2
- 初期消火器具取扱訓練 2
- 屋内消火栓取扱訓練 3
- バケツリレー 3
- 煙体験 4



救急関係

- 心肺蘇生法訓練(AED) 4
- 応急手当 5
- 搬送法 5
- 三角巾取扱訓練 6



地震関係

- 救出訓練 6
- 地震体験 7
- 感震ブレーカー展示説明 7



その他

- 避難訓練 8
- 車両展示 8
- 119番通報要領 9
- 講話 9
- 災害図上訓練 DIG(ディグ) 10
- 横浜市民防災センター 10

消火器取扱訓練

訓練用消火器を使用した初期消火訓練を行います。

訓練用消火器とマトは貸し出しも行っていきます。



実施時間

約 15分~

実施場所

屋外

実施条件

晴れ

初期消火器具取扱訓練

地域に設置されている初期消火器具の訓練を行います。
消防署の資機材を使用することもできますので、ご相談ください。

実施時間

約 60分

実施場所

消火栓
付近

実施条件

晴れ

用意するもの

初期
消火器具



屋内消火栓取扱訓練

建物に設置されている屋内消火栓の訓練です。
消防設備点検業者の立会いがある場合は放水訓練も実施できます。



実施時間

約 15分~

実施条件

晴れ
(放水する場合)

バケツリレー

身近にあるバケツなどを使用して、皆さんで協力して行う消火訓練です。
子ども会等に声を掛け、子どもと一緒に実施すると参加者が増加します。

実施時間

約 30分~

実施場所

屋外

実施条件

晴れ

用意するもの

バケツ
(大・小)

煙 体 験

煙の特性などの説明をした後、専用のテントで訓練用の煙発生器を使用した煙体験を行います。屋内(教室、集会室等)での実施も可能ですので、ご相談ください。



実施時間

約30分~

実施条件

晴れ

用意するもの

電源
※発電機不可

心肺蘇生法訓練 (A E D)

心臓と呼吸がとまってしまった状態の人に対して行う心肺蘇生法を、AEDの使用方法を合わせて習得する訓練です。



実施時間

約45分~

実施条件

晴れ
(屋外の場合)

応急手当（けがの処置）

イザという時の応急手当や、止血法、気道異物の除去方法、回復体位などを学びます。



実施時間

実施条件

約30分～

晴れ

(屋外の場合)

搬送法

簡易担架での搬送や徒手搬送など、災害時に傷病者を搬送する方法などを学びます。



(お持ちの場合)

実施時間

実施条件

用意するもの

約30分～

晴れ

(屋外の場合)

簡易担架等

お持ちの搬送器具があれば、その器具も使ってみましょう。



三角巾取扱訓練

骨折時の手当や包帯代わりとしても使用できる三角巾を活用した応急手当の方法を学びます。



実施時間

約30分～

実施条件

晴れ
(屋外の場合)

救出訓練

車用ジャッキや、一般家庭にある工具(ハンマーやボール)などで、閉じ込められた人を救出する方法を学ぶ訓練です。



実施時間

約30分～

実施条件

晴れ
(屋外の場合)

用意するもの

救助
資機材
(お持ちの場合)

地震体験

※車両の駐車場所等の状況によっては実施できない場合があります。

防災指導車(起震車)で、震度7までの地震体験を行います。



実施時間

約30分~

実施条件

晴れ

実施条件

参加者
50人
以上

実施場所

空地
(屋外)

過去に発生した大地震
(阪神・淡路大震災や関東大震災)
などが体験できます。

感震ブレーカー展示説明

分電盤型の感震ブレーカーやコンセント型の感震ブレーカーなど、実際の感震ブレーカーをお持ちして、展示説明を行います。



実施時間

約30分

用意するもの

電源



避難訓練

火災や地震の際の避難・誘導の訓練です。被害状況を考慮した避難経路や避難方法や、訓練参加者の避難状況(ケガの有無など)を確認します。



実施時間

約30分

実施条件

晴れ

(屋外避難の場合)

車両展示

※災害出場等により車両を用意できない場合があります。

お子さま向けに、消防車や積んでいる道具を展示、説明を行います。



実施時間

約20分~

実施場所

屋外

実施場所

カメラ

子ども防火衣を着て
記念撮影もできるよ!



119番通報要領

PowerPoint(スライド)などで、119番の仕組み等の説明をした後、模擬通報装置を使用して、119番の通報要領を学びます。



実施時間

約30分~

実施場所

屋内

用意するもの

電源

※発電機不可

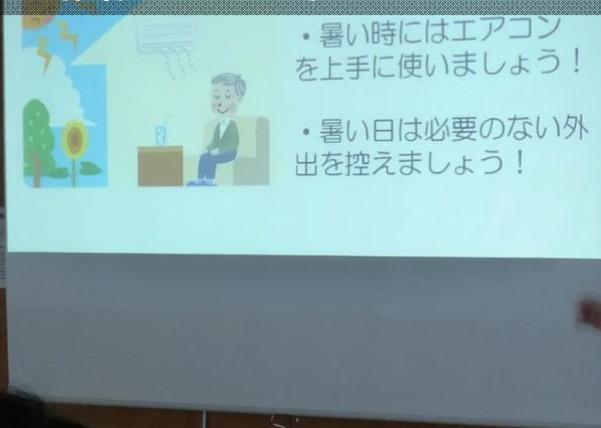
スクリーン(プロジェクター)を使用する場合があります。場所が小規模な場合や、スクリーンの設置が困難な場合はご相談ください。

講話

スライドや動画、冊子などを使って、様々な講話を行います。講話の内容、実施時間は、ご相談ください。

例えば...

- 火災を防ぐには？
- もし火災になったら？
- 地震が起こったら？
- 台風や大雨の時は？
- 救急車を呼ぶには？
- 病気やケガを防ぐには？
- 季節やタイムリーな話題など



実施場所

屋内

用意するもの

電源

(必要な場合)
※発電機不可

災害図上訓練 DIG(ディグ)

地域の災害危険を把握し、災害発生時の対応を地図を囲みながら話し合い、ゲーム感覚で行う訓練です。

実施時間

180分

実施場所

屋内

用意するもの

電源

用意するもの

その他

※要相談

各班で議論した結果を最後に発表していただきます。



体験型防災学習施設「横浜市民防災センター」

楽しみながら防災・減災の知識・技術を身に付けることができる施設です。地震シミュレーターでの震度体験や、減災トレーニングルームでの災害疑似体験などここでしかできない体験を行うことができます。



実施時間

約60分

実施場所

屋内

訓練会のモデルコース (訓練をする際の組み合わせについてはご相談ください。)

火災コース (人数の目安:30人の場合)



避難訓練 20分



消火器取扱訓練 20分



119番通報訓練 30分



煙体験 30分

応急手当コース (人数の目安:約30人の場合)



心肺蘇生法訓練 45分



搬送法 30分



三角巾取扱訓練 30分



応急手当 30分

地震コース (人数の目安:50人の場合)



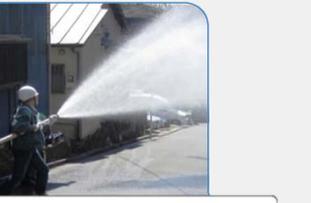
避難訓練 20分



地震体験 30分



救出訓練 30分



初期消火器具取扱訓練 60分

訓練会を開催するまでの流れ

相談



実施日時などの検討



申し込み



訓練実施

- 消防署、消防出張所に訓練の相談をします。
- 訓練内容などが決まっていなくても、まずはご相談ください。

- 自治会町内会でご相談の上、訓練の日時や場所、内容をご検討ください。
- これまでの訓練内容に片寄りがある場合は、訓練内容の見直しもご検討ください。

- 各消防署、消防出張所で訓練の申込を受け付けています。

- 訓練実施にあたり、自治会町内会でご用意いただけるものは、用意していただくようにお願いします。